

## 長松地区 第6次工事

整地工 15,84 ha 畦畔工 2,414 m 道路工 2,774 m (盛土土量 17,600 m<sup>3</sup>)  
用水路工 2,853 m 排水路工 2,119 m 湧水処理工 3,226 m

この工事では、施工場所が山沿いにあたり、至る箇所からの湧水があったため、  
施工中に湧水処理を施しながらの作業になった。また例年より天候不良が続いたため  
作業日数が少なくなり使用重機の確保に苦労した。

施工前



施工後



道路工においては所により道路高低差が6m以上で道路盛土量が合計17,600 m<sup>3</sup>あり  
基盤切盛土時の現場発生土使用の設計で基盤土(軟弱土)で盛土施工したため、法面滑落が  
起きた、このため法面部に3mの松杭を使用した木柵を2段施工することにより法面の滑落を  
防止しようやく完成に辿りつける事ができた。

使用重機

(20tブルドーザ: 4台 6tブルドーザ超々湿地: 2台  
0.4m<sup>3</sup>バックホウ: 5台 0.7m<sup>3</sup>バックホウ: 1台)

道路滑落箇所 木柵施工状況

